

令和7年度いみず苑グループホーム地域連携推進会議議事録

1 日 時

令和8年3月26日(木) 13:00～15:30

2 場 所

管理棟1F 第一会議室

3 出席者

- ・利用者代表 3名 (片口、きずな、七美)
- ・利用者家族代表 3名 (片口、きずな、七美)
- ・地域の関係者 3名 (片口、きずな、七美)
- ・福祉に知見のある者 3名 (片口、きずな、七美)
- ・経営に知見のある者 1名
- ・射水市社会福祉課 1名
- ・いみず苑「ひびき愛」4名 (施設長、施設長代理、
グループホーム支援課長、同課長補佐)

4 施設見学

いみず苑グループホーム3箇所(片口、きずな、七美)を見学。

5 議 事

(1) 地域連携推進会議について

施設長から、「資料1 地域連携推進会議について」に基づき同会議の趣旨・目的等について説明。

(2) いみず苑「グループホーム」の概要について

グループホーム支援課長から「資料2 いみず苑「グループホーム」の概要」及び付属資料に基づき、施設・サービス概要、利用者状況、運営状況、利用者の権利擁護等について説明。

(3) 意見交換

○質問：やんばいはうす片口に当直者がいないとのことであるが、もし夜に地震があったときなど、私たち住民ができることがあるか。お任せしてよいか、それとも支援が必要か。

○回答：GHには軽度知的障害の方が入居しておられ、万一、地震が発生した際には、地元の住民の方と地元の避難所に避難いただくこととしているが、職員もかけつけて避難の支援をしたいと考えているが、道路が寸断されてそこまで行けないなど被害の状況によっては、地域の方々に頼らざるを得ない場合も想定され、その場合には、お力をお貸しいただけるとありがたいと考えている。

○質問：やんばいはうす片口に、夜間、職員がいないことについて心配になる。今後、管理人を置くことが難しい場合には、何かあった場合の体制づくりを

作成して住んでおられる方に緊急連絡先を徹底するなどしてほしい。

- 回答：今後、宿直を置くことなどについては検討したい。緊急体制等については、壁に貼ってあるが、そうしたことは今後とも周知徹底を図りたい。

- 質問：風呂については、施設によって回数が決まっているのか。お湯は何日に1回変えておられるのか。
- 回答：風呂は毎日、入っている。夕方、GHに戻られてから順番を決めて入っておられる。また、お湯は毎日変えている。

- 質問：各々のグループホームの玄関先に庇はついていたか。
- 回答：庇はついている。

- 意見：グループホームは楽しい。満足している。

- 意見：あまり喧嘩をしたくないと思う。

- 質問：資料中の障害支援区分がなしというのはどういう意味か。
- 回答：障害は認められるが、軽度の方で1までの要件を満たしていないということである。

- 質問：国は、いろんな分野で、すぐに地域でというようなことを言われる。国はどのように考えているのか。
- 回答：8年度から入所利用者に地域移行の確認をしなければならないこととなっている。ただ、本人が地域で暮らしたいと言っても、地域でそのような体制になっていない限り移行は困難であり、GHに移行したいと言ってもGHは満杯状態である。非常に資源が不足している。また、通所利用者を見ると所謂8050問題が顕在化しており、GHを早急に建設する必要があると考えている。また、地域移行を進めると言っても、地域で受け皿がないことには進まないことから、地域の体制整備・仕組みづくりを進めるよう、知的障害者福祉協会などを通じて国に要望しているところである。